

コンクリート積みブロック

スプリット 間知ブロック



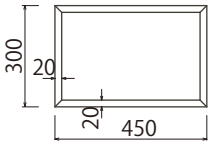
全協明証 第2078号 平均明度4.5
全協テ証 第0313号 輝度の標準偏差(平均)33



株式会社 赤城商会

www.akagi-sk.co.jp

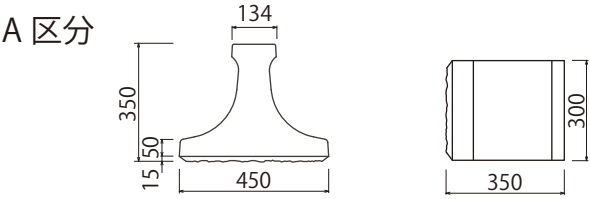
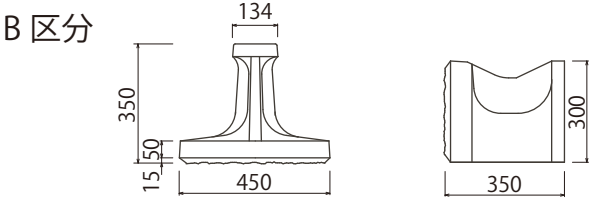
SP-A 型



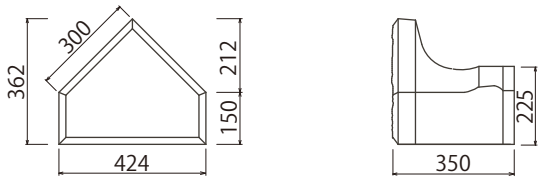
<JIS A 5371 附属書D、推奨仕様D-1>

項目	質量(kg)		体積(m³)		使用量(個)	寸法許容差(mm)		質量区分(kg)
	1個	1m²	1個	1m²		面	控	
SP-A型 B区分	43.5	322.0	0.0185	0.1384	7.4	±3	±5	B(350未満)
SP-A型 A区分	51.0	377.4	0.0217	0.1606	7.4	±3	±5	A(350以上)

B区分 :1m²あたりの胴込コンクリート量 0.21m³
A区分 :1m²あたりの胴込コンクリート量 0.19m³

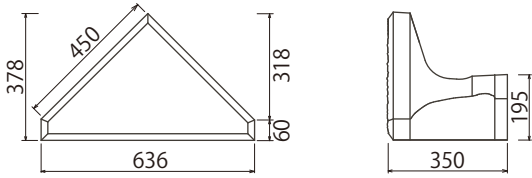


SP-B 型



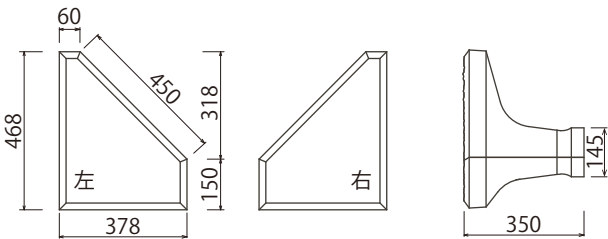
質量:35.5kg

SP-C 型



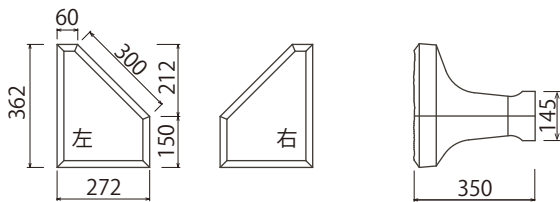
質量:42.0kg

SP-D 型 左・右 (左右とも数値は同じ)



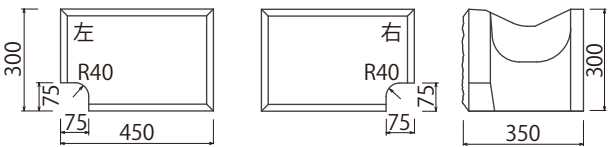
質量:42.0kg

SP-E 型 左・右 (左右とも数値は同じ)



質量:27.0kg

SP-A 水抜き型 左・右 (左右とも数値は同じ)

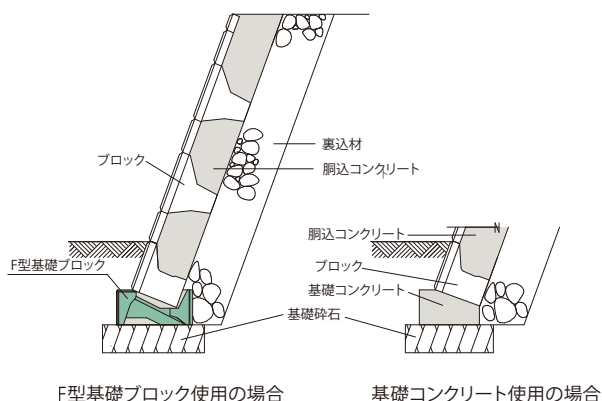


質量:43.0kg

※水抜き穴は、貫通していませんので現場加工にてご使用下さい。
※穴部厚さにはバラツキがありますので、ご注意ください。

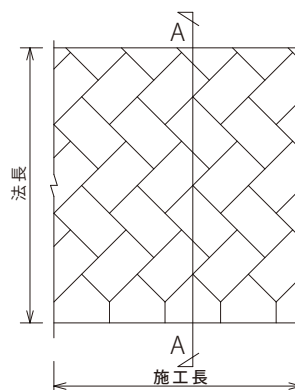
ブロック積擁壁施工図

谷積施工図(例)



F型基礎ブロック使用の場合

基礎コンクリート使用の場合

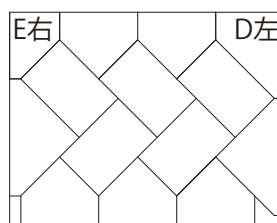


材料表

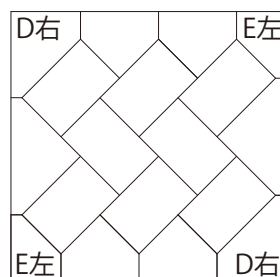
コンクリート間知ブロック(1m²当たり)

- ・間知ブロック・・・7.4個 (450×300×350)
- ・目地モルタル・・・0.001m³
- ・胴込コンクリート
スプリット B区分・・・0.21m³(0.35-0.0185×7.4÷0.21)
- ※A区分の場合胴込コンクリート量は0.19m³となります。
- ・裏込材・基礎コンクリート・基礎砕石

A型の積み上げ段数が偶数段の例



A型の積み上げ段数が奇数段の例



谷積ブロックの所要計算式

	(1)ブロック壁長 $L=0.424n+D+E$	(2) 最上段B型の使用数 $n = \frac{L \cdot (D+E)}{0.424}$	(3) 1段毎に伸長する法長	(4)ブロック法長(m)
スプリット間知	$L = 0.424n + 0.378 + 0.272$ $= 0.424n + 0.650$	$n = \frac{L \cdot (0.378+0.272)}{0.424} = \frac{L \cdot 0.650}{0.424}$	$\frac{A}{\sqrt{2}} = \frac{0.450}{\sqrt{2}} = 0.318$	$H = B + B' + 0.318P$ $= 0.362 + 0.15 + 0.318P$ $= 0.512 + 0.318P$

※スプリット間知と滑面間知とは計算式内の値が異なります。

L=ブロック長(m)、n=B型最上段使用数、P=A型積上段数、H=ブロック法長(m)
D=D型短辺長、E=E型短辺長、A=A型長辺長、B=B型全高長、B'=B型平行辺長

A型の段数

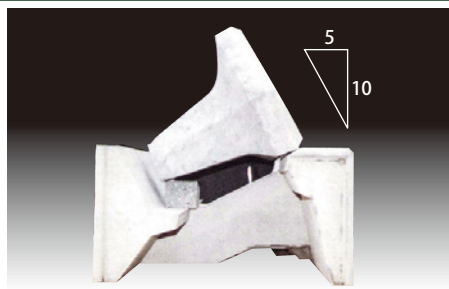
11段 4010	D型	B型	E型
10段 3692	A型		
9段 3374	C型		C型
8段 3056			
7段 2738			
6段 2420			
5段 2102			
4段 1784			
3段 1466			
2段 1148			
1段 830	C型	A型	
0段 512	E型	B型	D型

積み上げ段数の法長(mm)
(根石・天端のB型を含む)

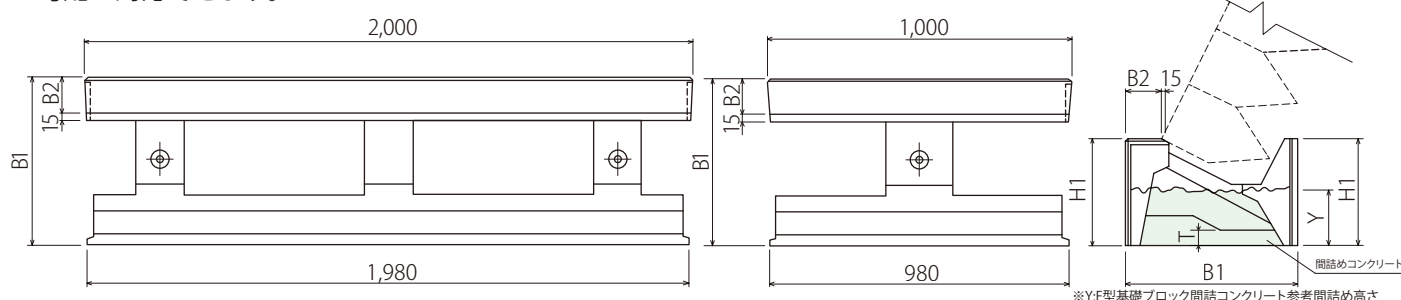
法長(H)の算出

A型積上段数	法長(m)	A型	B型	C型	D型	E型
0	0.512	0	2n+1	0	1	1
1	0.830	n+1	2n	0	2	2
2	1.148	2n+1	2n+1	2	1	1
3	1.466	3n+2	2n	2	2	2
4	1.784	4n+2	2n+1	4	1	1
5	2.102	5n+3	2n	4	2	2
6	2.420	6n+3	2n+1	6	1	1
7	2.738	7n+4	2n	6	2	2
8	3.056	8n+4	2n+1	8	1	1
9	3.374	9n+5	2n	8	2	2
10	3.692	10n+5	2n+1	10	1	1
11	4.010	11n+6	2n	10	2	2
12	4.328	12n+6	2n+1	12	1	1
13	4.646	13n+7	2n	12	2	2
14	4.964	14n+7	2n+1	14	1	1
15	5.282	15n+8	2n	14	2	2
16	5.600	16n+8	2n+1	16	1	1
17	5.918	17n+9	2n	16	2	2
18	6.236	18n+9	2n+1	18	1	1
19	6.554	19n+10	2n	18	2	2
20	6.872	20n+10	2n+1	20	1	1

F 型基礎ブロック



- F型基礎ブロックは、積みブロック擁壁の基礎工で、型枠工と天端部の均し工程を省力化できる製品です。
- 根石の胴込コンクリートは型枠を使わずに、基礎ブロックの充填と同時に打設可能です。
- 基礎ブロックとカイバンで高さを調節することにより、市販されているほとんどのブロックにて擁壁積みを自由な積み勾配に対応できます。



F 型基礎ブロック寸法表、間詰め・胴込めコンクリート数量表

呼び名	寸法表(mm)				重量(kg)		F型基礎間詰めコンクリート(m³)			間詰め高さY(mm)			SP間詰1段目胴込めコンクリート(m³)		
	B1	B2	H1	T	L1000	L2000	5分勾配	4分勾配	3分勾配	5分勾配	4分勾配	3分勾配	5分勾配	4分勾配	3分勾配
F1025	545	100	250	0	122	256	0.031 (Y=101)	0.040 (Y=125)	0.049 (Y=154)	0.079	0.070	0.060			
F1030	565	100	300	0	158	330	0.047 (Y=151)	0.056 (Y=175)	0.066 (Y=204)						
F1035	565	100	350	50	170	369	0.067 (Y=201)	0.076 (Y=225)	0.086 (Y=254)						

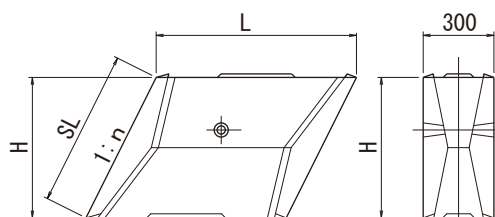
※詳細については弊社営業にお問い合わせください。

※延長1mあたり ※Y:F型基礎ブロック間詰コンクリート参考間詰め高さ
※間詰めコンクリートの設計基準強度は18N/mm²となります。

カークヘキ (隔壁用ブロック)



- 胴込コンクリート型
この製品はブロック内の胴込コンクリートと上下段のかみ合わせにより、壁体が一体化されることで連結金具は必要ありません。そのため、ブロック積の施工の後先に関係なくこの製品を積み上げることが出来ます。
- 上・下かみ合わせ型
製品の上・下にかみ合わせの突起があるため、製品を傾けて布設することができ、現場のいろいろな勾配に合わせて施工することが可能です。



名称	L(mm)	H(mm)	SL	勾配 n	m	製品重量	間詰めコンクリート (ブロック1個当たり)
5分・90型(滑面)	900	596	666	1:0.5	298	215kg	0.066m³
5分・90型(化粧)						220kg	

ご購入の前に ※商品の色調は撮影条件や印刷特性により、
実物と多少異なる場合もありますのであらかじめご了承ください。
※寸法及び重量は、基本数値です。
※商品の改良の為予告なく仕様を変更する場合があります。

※寸法は製品の特性上、バラツキのある事をあらかじめご了承ください。
※納期をご確認ください。
※コンクリート製品は白華を析出する場合がありますが、
製品強度や環境に悪影響を及ぼす物ではありません。

製造・販売元

本 社
〒377-0203
群馬県渋川市吹屋1093-4
TEL:0279-24-3131
FAX:0279-23-1447

首都圏支店
〒333-0861
埼玉県川口市柳崎1-2-28
TEL:048-424-2250
FAX:048-424-2274



株式会社 赤城商会
www.akagi-sk.co.jp

